

7 番（小川義昭君）

ぜひこのマネジメント白書をつくっていただいて今、市民の皆さんが熱望しているこの進め方、どうかひとつよろしく願いいたします。

最後の9つ目です。

本市の公共施設のあり方に関し、今定例会に提案された議案について質問いたします。

平成 25 年度新年度当初予算案の中で、年度末における市債残高は、総額で 1,408 億 787 万円が見込まれ、そのうち一般会計分では 862 億 7,850 万円となり、1 人当たりに換算いたしますと総額で 124 万 1,000 円、一般会計だけでは 76 万 1,000 円となり、過去最高の借金額となります。

こうした市債残高が見込まれる新年度予算の中で、北陸新幹線（仮称）白山駅の建設のための新駅基礎調査費 800 万円が計上されるとともに、野球場整備推進に係る基本計画策定費 160 万円が計上されております。

北陸新幹線及び在来線の（仮称）白山駅、そして野球場整備などの大型プロジェクト事業を推進するには当然、用地取得費、建設費、整備費などの概算費用を算定していると思われませんが、それぞれの事業に係る総事業費及び建設後の維持管理費などトータル的にどれだけの金額を見込んでいるのか、大づかみでも結構です、市民の皆さんにお示してください。

もちろん、これらの建設経費については直接経費だけでなく、関連するアクセス道路や駐車場等の建設費をも含めた金額でお願いいたします。

また、これらの事業執行に伴い、本市の中長期財政計画に与える影響は非常に大きいものと懸念されます。市債残高が過去最高額と見込まれる中で、財政的に本当に耐えられると断言できるのでしょうか。あわせて概算の中長期財政計画を明示ください。

さらに、市長からいただいた「ハコモノが地方を潰す」の記事の関連を含め、大型プロジェクト事業推進に当たり、市長の見解をお伺いいたします。

一方、条例案においても大変残念なことながら、市民への満足な説明責任を果たされないままバードハミング鳥越の宿泊部門やプールなどの健康浴場部門を廃止するための条例案が、今定例会に提出されました。

今、市民が市に必要としている施設は何なのか。ここで改めて考

える時期が来ていると思います。今後の公共施設のあり方を市民とともに丁寧に再検討、再考していくことを通じて、白山市政への市民基盤と信頼強化につなげていきたいとの思いを添えて、私の一般質問といたします。